




**若尾**  **きみえ**  
**通信** 20



2018年 9 月 10 日号

Tel/Fax 042-668-1020

E-mail info88@wakaokimie.jp

http://wakaokimie.jp

http://twitter.com/wakao\_kimie

発行 若尾きみえと生き生き市民会議

▶元八王子市議会議員 若尾きみえの活動と市政報告

## これからの防災を考える

### 1. 岡山県倉敷市真備町の被災地に入って

西日本では、7月の未曾有の集中豪雨により、甚大な水害に見舞われました。9月6日には北海道でも大地震が発生。お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りし、被災された方々にお見舞い申し上げます。

私は、今回、岡山に帰省した際、被害が特に深刻だった岡山県倉敷市真備町の災害ボランティアに参加させて頂き、作業を通して、洪水被害の深刻さ、なかなか進まない復旧作業の現状や、被災者の方々の生活再建の大変さを痛感しました。気象学者の方のお話では、異常気象は今後さらに続くとのこと。首都直下型地震もいつ起きるかわかりません。改めて、地域で防災の取り組みを強めていくことの重要性を強く感じました。

### 2. 命と財産を守るための備えと心構えは？

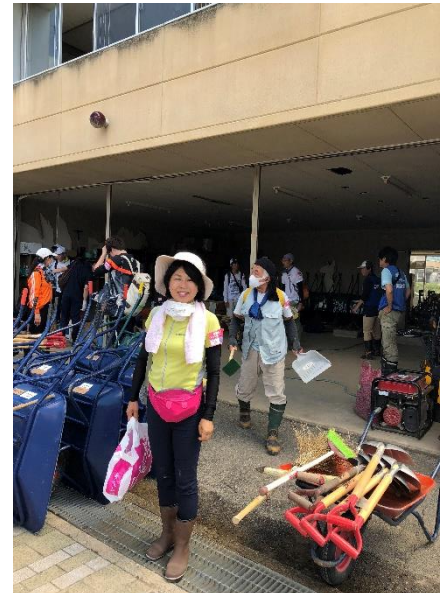
災害が発生した時に、生死を分けるのは、情報と判断と行動です。ふだんから、自治体が出すハザードマップを見ておくことは重要です。しかし、その一方で、ハザードマップで安全だったからと安心することも問題です。というのは、東京都の出している浸水想定区域のデータは平成20年公表のデータ。治水対策の想定を上回る集中豪雨が各地で発生しています。また、雨で地盤が緩んだところに、もし地震が起きれば、被害は複合的に広がります。私たちは、改めて各地で起きている災害の教訓を学ばせて頂きながら、自らの防災力を上げ、最悪の事態に対して冷静な対応ができるようにしておくことが重要だと感じます。

**\*地震には、家具の転倒防止など自宅の完全対策を。災害時の連絡方法の確認、非常用持ち出し袋や水・食料の備蓄。ご近所力アップも大切な備えです。**

### 3. 災害ボランティアの体験から見てきたもの

#### ○住宅だけでなく、真備支所、保健福祉センター、病院も浸水の衝撃

真備町は、倉敷市のベッドタウンとして急速に発展した地域です。小田川と高梁川に挟まれた河川の下流部にあたる真備町は、洪水危険区域でもありました。今回、私は、災害ボランティアとして、真備支所と保健福祉センターがある敷地の泥かきと清掃作業を担当しました。



携帯・スマホの  
バッテリーも！



#### 【非常持ち出し品リスト】

- ・現金・貴重品・救急薬品
- ・非常食品・携帯ラジオ
- ・懐中電灯・衣類やタオル
- ・衛生用品など



災害ボランティアの様子

## ○なぜ未然に防げなかったのか？

作業を進めるそばで、建物一階の天井の取り壊し作業が進められていました。本来、災害時に市民を支える拠点であるはずの真備



支所や保健福祉センターが被災することの深刻さを痛感しました。

## ○行政の対応と住民の危険認識の課題

今回、真備町では、ハザードマップで二階までの浸水深が想定されていた区域で、まさにその浸水被害が出ました。地域では、昭和51年に大洪水があり、教訓となる石碑もありましたが、危険性を指摘する住民の声がある一方で、これまで大丈夫だったと、みんなが油断していたとの反省の声も聞かれました。国の河川改修事業は遅れ、市は、住民に浸水危険区域の危険性をしっかり伝えることができていなかった。このような状況で、夜間降り続く大雨で、高梁川のダムが放流がされ、バックウオーター現象が発生。ついには堤防が決壊となる。洪水の危険が迫る真備町で、住民に避難指示が出されたのは、川の堤防決壊を確認するわずか4分前。夜中に起きた洪水で、多くの方が自宅から逃げることができず、体の弱い高齢者の中には、二階にあがる垂直避難すらできず、お亡くなりになった方もいました。

## ○開発行政～縦割り行政、連携の不備が招く悲劇～

行政は、治水対策が十分でない地域に、なぜ開発許可を下ろしたのか。住民は危険をどこまで認識していたのか。広島県安佐南区の被災地の視察でも同様の課題を感じましたが、市民の命を守るには、行政の縦割りから来るこのような不備をなくす必要があります。八王子市の開発行政にも注視が必要です。

## 4. 防災情報の発信はわかりやすく

### ○ネットが使えない人は不利になる？！

9月1日の八王子市広報では、洪水や土砂災害のハザードマップが市のホームページに掲載されているので確認をとのお知らせがありました。ネットが使えない人は？と市に尋ねたところ、残っている印刷物のハザードマップを役所に取りに来てもらうか、ネットが使える方をお願いして、情報を取る努力を各自でしてくださいとの回答でした。

### ○「八王子市総合防災ガイドブック」の配布を機に市民への説明会の開催を！

八王子市では、来春には、「総合防災ガイドブック」を完成し、各世帯に配布予定とのこと。洪水と土砂災害が重ねて見えるハザードマップも掲載予定です。



「総合防災ガイドブック」の配布だけでなく、ぜひ説明会を開催するなどして、市民にわかりやすい情報提供と啓発活動をしてほしいと、市に要望しました。

写真で見る

活  
動  
報  
告



全国から集まった人々  
災害ボランティアセンター受付時の様子



ゆがんだフェンス  
洪水のすさまじさを物語る



ボランティア要望の受付の様子  
テントを張ったサテライトにて

— あなたの意見・ご提案をお気軽にお寄せください！ —

## 若尾きみえと生き生き市民会議

〒193-0833 八王子市めじろ台3-19-14  
E-mail: info88@wakaokimie.jp

TEL&FAX 042-668-1020

HP <http://wakaokimie.jp> 若尾きみえ

若尾きみえプロフィール▶1964年岡山県生まれ。岡山大学教育学部卒業。岡山市立幼稚園にて教諭。結婚を機に退職し、その後、仙台市、富山市にて英会話講師。1998年から八王子市散田町、2006年からはめじろ台在住。2003年市議会議員選挙初当選後、2期活動。▶主な活動実績/八王子市環境基本条例制定に向けて活動 八王子市西南部環境市民会議員 八王子まち創造塾理事 地域で高齢者福祉や防災の問題に取り組む。まち興しに向け、歴史・文化・自然など地域のお宝を発掘中。▶趣味/柴犬、ガーデニング、アロマセラピー、音楽鑑賞、陶器、温泉